

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和6年9月30日

和泉市長 あて

団体名 和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム

代表者名 小宮 さえこ

所在地 和泉市内田町 1-6-33

電話番号 090-6674-5361

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	体験型アートコンクール あっぷサクラフト
申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
事業費総額	1,933,500 円 (うち、対象経費 1,703,500 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	イズミクボソウミュージアムタウンコンソーシアム		
団体名	和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム		
団体の目的	コンソーシアムは、和泉市久保惣記念美術館（以下「美術館」という。）周辺地域を「美術館のあるまち」として魅力づくり・まちづくりを行う「和泉・久保惣ミュージアムタウン」において、エリアのブランド価値向上を図ることで、和泉市の地域活性化や交流人口拡大等に寄与する事業を自ら主体的に取り組むことを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1156 和泉市内田町 1-6-33 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	（ ）	F A X （ ）
フリガナ	カイチョウ コミヤサエコ		
代表者氏名	会長 小宮 さえこ		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名）※ フリガナ コミヤサエコ 小宮さえこ		電 話 090（6674）5361 F A X （ ）
（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	2021 年 4 月	主な活動地域	和泉久保惣ミュージアムタウン
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	6 人
メールアドレス	[REDACTED]		
ホームページ	https://www.hata-izumikuboso.art/		
主な事業内容	和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムは、地域の価値向上とブランド化を目指し、アーティストやクリエイターの支援、アートを通じた教育向上、地域活性化を推進しています。		
主な活動の実績	①古民家を活用した交流拠点施設の創出及び情報発信の環境整備としてギャラリーと工房が一体となった施設が誕生。創作活動やアートギャラリー、体験教室を開催し、クリエイターと地域住民、来訪者が交流し、まちの魅力向上を図るための拠点を導入。※コンソーシアムは運営をしていません。 ②コンソーシアムウェブサイト HATA を導入 ③ミュージアムタウンストローリーMAP を制作 ④デジタル作品アートコンクール 2022・2023 開催。 ⑤各年度にミュージアムタウン内でアートワークショップを開催（アートな自動販売機や屋外のペイント作品等） ⑥2024 年 8 月には 2025 年 IKMC アートコンクール あっぶサクラフトに向けての実験的ワークショップを開催		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	令和 3 年度	（地方創生推進交付金） 市からの負担金	8,540,000 円
	4 年度	市からの負担金	4,270,000 円
	5 年度	市からの負担金 （※市からの負担金は令和 6 年度から 無し）	3,310,000 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	体験型アートコンクール あっぷサクラフト
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☒ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 和泉市は 2017 年に「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を策定し、久保惣記念美術館を中心に文化的なまちづくりを進めています。しかし、地域住民や企業、NPO、行政の連携が不十分であり、地域全体で文化的価値を高めるには課題が残っています。また、地域住民の美術館や芸術に対する関心が薄れがちで、日常生活との結びつきが弱い現状です。さらに、地域資源やアートを活用した発信や、環境配慮への取り組みも不足しているため、持続可能な地域づくりには住民や企業の理解が不可欠です。 ② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 ● 地域住民、企業、アーティスト、子どもたちが連携し、地域の文化的価値が向上します ・ 地域の認知度と魅力度の向上：文化的価値が高まることで和泉市の認知度が上がり、観光客や訪問者が増加。地域経済に好影響を与え、地域活性化を促進します。 ・ 住民の誇りと愛着の醸成：アート活動により、住民の地域への誇りや愛着が深まり、地域コミュニティの一体感が強化され、住民による自主的な活動も活発化します。 ・ 次世代教育への効果：文化的な経験の場が増えることで、子どもたちの創造力が育まれ、STEAM 教育が促進され、地域に貢献できる人材育成にもつながります。 ・ 地域外からの人材やアーティストの誘致：地域の魅力が高まり、外部からもアーティストやクリエイターが集まりやすくなることで、新たな視点や多様な活動が生まれます。 ● 持続可能な社会への意識醸成：不要物を活用したアート制作を通じて、住民の環境意識が高まり、サステナビリティへの理解が深まります。 ● アーティスト活動の支援と地域のアート・クリエイティブ活動の活性化：アーティスト支援の仕組みが整うことで、地域のアート・クリエイティブ活動がさらに活性化し、和泉市の文化的な魅力が外部にも広く発信され、地域ブランドの向上が期待されます。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 子どもたちが企業から提供された不要物やアート素材を使って自由に作品を制作するアートワークショップを開催します。プロのアーティストも参加し、アーティストがライブでアート作品を制作することで、同じ空間で制作する子どもたちに制作技術やアイデアを共有し、創作のヒントやインスピレーションを与えます。参加者は制作過程を間近で見学でき、子どもたちは創作の魅力を直接感じられる場を提供されます。さらに、ワークショップで制作された子どもたちの作品は審査を経て優秀作品が表彰され、表彰式を通じて創作意欲の向上と地域での評価・関心の拡大を図ります。アーティストによるアート作品やグッズの販売ブースも設置し、来場者が作品を購入できる場を提供することで、アーティストの活動支援も行います。同日には「のぞみの夏祭り」も大学内で開催されるため、幅広い年齢層の方々が訪れやすく、充実した飲食や休憩スペースも整い、イベント全体の魅力がさらに高まります。	

- ・ **地域連携の強化**：和泉市内外のアーティスト、クリエイター、地域住民、企業、行政が協力し、アートを通じた地域活性化を図ります。企業が不要物の素材を提供し、地域住民も観覧者やサポーターとして参加することで、地域の文化的価値が高まり、住民の創造的活動への参加が促進されます。
- ・ **STEAM 教育の促進**：子どもたちが不要物を使ってアート作品を制作するワークショップを通じて、創造力や問題解決力を養います。アーティストとの共同制作や技術を活用するプロセスで、アートを通じて科学的・技術的な視点を学び、STEAM 教育の促進に寄与します。
- ・ **サステナビリティの推進**：企業から提供された不要物をアート作品の素材として活用し、環境問題への意識を高めます。地域資源の再利用を通じて、持続可能な社会への意識を広め、住民や企業の環境配慮を促進する取り組みを行います。
- ・ **アーティスト支援と創造的空間の提供**：当日はアーティストがライブで作品制作を行い、子どもたちに創作のヒントやインスピレーションを与えます。子どもたちはアーティストと同じ空間で制作活動を行い、プロの技術やアートの可能性に触れることで創造の幅が広がります。
- ・ **クリエイターの専門技術活用**：コンクールのデザインの一部をクリエイターに委託し、イベントの質を向上させます。クリエイターの技術がイベント全体の魅力を引き上げ、参加者により豊かな体験を提供します。
- ・ **アート作品の表彰**：制作された子どもたちのアート作品は審査され、優秀な作品に対して表彰が行われます。表彰式を設けることで、子どもたちの創作意欲を高め、地域全体で評価や関心が広がる機会を提供します。
- ・ **観覧者の参加促進と地域経済の活性化**：観覧者が訪れることで、アーティストのファンや市民をミュージアムタウンに誘致します。また、アーティストの物販ブースを設置し、地域経済の活性化に寄与します。
- ・ **幅広い年代の交流促進**：イベント会場内に飲食や休憩エリアを設置し、キッチンカーなどの出店も予定しています。これにより、幅広い年代が楽しみながら交流できる環境を提供し、イベント全体の満足度を高めます。

②実施期間（日時）	令和 7 年 7 月 26 日（土） 午前 10：00～午後 18：00
③実施場所	桃山学院大学（仮）
④主な対象者	和泉・久保惣ミュージアムタウン周辺地域の住民及び市内外のアーティストや企業
⑤参加予定者数	500 名（作品制作に参加する子どもたち／一般観覧者／アーティスト・クリエイター／企業関係者）
⑥告知方法	広報いずみ、チラシ配布、ポスター掲示、回覧、役員の SNS 等発信、和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム HP、企業協力など

5 事業スケジュール

次期（月）	内容
R6 9-12 月	企画書作成、和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム会議開催。各方面への協力要請。
R7 1-2 月	令和 7 年度予算作成
3 月	和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム総会開催。アーティストと調整。会場調整。計画書案作成。行事運営担当割作成。
4-5 月	実施計画書案。担当割決定。キッチンカーと調整。実施要項作成。広報・案内・募集。
6-7 月	マニュアル修正。広報・案内・募集。
7-8 月末	体験型アートコンクール あっぴサクラフト 開催

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 （実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	本事業は、和泉市内外の子どもたちや市民、企業、アーティスト、クリエイターが一体となって取り組むアートイベントです。環境保護や創造性を育む内容であり、幅広い層の市民に共感を得られる事業です。地域の資源を生かしたアート作品を通じて、多くの市民が文化的な交流を図る機会となり、地域全体の魅力を高めます。
② 継続性	本事業は、2022・2023 年に実施したアートコンクールや 2024 年に実施したワークショップを踏まえ、2025 年に本格的に実施されるアートコンクールです。参加者の満足度が高く、今後も定期的に実施することで地域の恒例イベントとなる可能性があります。また、企業からの不要物提供やアーティスト支援という持続可能な要素も含まれており、継続的な展開が期待できます。
③ 実行性	事業の目的は明確であり、地域住民、企業、クリエイター、アーティストが協力する形で実施されます。予算は既に検討され、参加費用の設定も具体的です。アーティストの物販や観覧者への入場料も考慮しており、実行可能な計画が立てられています。すでに 2022・2023 年のアートコンクールや、2024 年のワークショップで成功を収めた実績もあるため、2025 年の事業も高い実現性が見込まれます。
④ 協働性	和泉市内外のアーティスト、クリエイター、企業、市民が参加することを重視しており、幅広い層との連携を図ることが可能です。特に、沢山の人が見守る空間で子どもたちがアート制作に取り組むことで、世代を超えた交流の場を提供し、地域の絆を深めることができます。また、企業が不要物を提供し、それをアートに昇華させる仕組みを作ることで、環境配慮とアートの融合が図られ、協働の一つのモデルケースとなります。
⑤ 公開性	本事業は、広く市民に向けてアートの魅力や環境意識を発信する内容であり、SNS や地元メディアを活用して広報活動を行います。また、ワークショップやコンクールの様子は、オンラインでの発信も計画されており、市内外から多くの関心を引き、市民が容易に参加できる工夫がされています。さらに、アーティストによる物販ブースなども設置され、来場者に魅力的な体験を提供します。
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	本事業は、和泉市におけるアートと地域活性化を融合させた新しい取り組みです。2024 年に実施したワークショップでは、不要物を利用したアート制作が市民に高く評価されました。アンケート結果から、多くの参加者が「1000 円程度なら支払って参加したい」と回答しており、2025 年のアートコンクールでは、参加費を 1000 円に設定する計画です。（参加費は本イベント運営費用として利用。）この事業は、環境配慮とアート教育の融合を図り、地域の持続可能な未来を担う子どもたちの創造力を育むものです。また、アーティストの物販ブースを設置し、アーティストのファンや企業の協力も得て、さらなる集客を期待しています。アーティストの作品やグッズが企業や来場者に購入される仕組みを通じて、地域内外のアーティスト活動を支援し、和泉市の文化的価値を高めることができます。さらに、企業の不要物提供による環境貢献活動も PR され、地域の魅力がより広く発信されるため、持続的な発展が見込まれます。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収 支 予 算 書

事業の名称： 体験型アートコンクール あっぷサクラフト

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	50,000	アートコンクール参加料金（1000円×50名）
	30,000	アーティスト物販ブース利用料（10000円×3名）or 販売手数料「グッズ売上の20%」のどちらか高い方
	930,000	寄付金（パンフレット広告料金）
	30,000	記念グッズ販売等（Tシャツ2,000円×15枚）
自主財源	93,500	団体会計
合 計	1,933,500	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	300,000	アーティストによる作品制作
消耗品費	280,000	プリンターインク、印刷用紙、封筒、文房具、Tシャツシルク印刷（販売用）缶バッジ（記念品） 作品キャプション、画材、清掃用具
食糧費	26,000	外部委託スタッフ＆アーティストの弁当（1000円×10名） 作品制作に参加する子ども50名、スタッフ30名の飲料代（200円×80名）
印刷製本費	260,000	チラシパンフ （両面カラーA3：1,000部 A4：2,000部） 表彰状（片面カラー：10枚予備含む） 企業ボード
役務費	7,500	傷害保険（150円×50人）
委託料	830,000	ライブ制作ステージ（120,000円） 参加者制作広場（180,000円） 入り口アーチ（120,000円） 看板（50,000円） 上記の設営撤去運搬費（280,000円） 当日SNSライブ配信用撮影（30,000円） 音響設備（50,000円）
消耗品費 （対象外）	180,000	スタッフ用Tシャツ（130,000円） 企業優待100名×500円 （企業向け当日配布）
食糧費（対象外）	50,000	スタッフ弁当
合 計	1,933,500	
対象経費	1,703,500	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。